

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17046		
課題名	大腿骨寛骨臼インピンジメントを含む股関節疾患の多施設疫学調査		
研究期間	西暦 2017年 7月 21日 ～ 平成31年 3月 31日		
研究の対象	IRB 認可後から1年間の間に、股関節に関連する愁訴を主訴に、旭川医科大学病院整形外科外来を初回受診した患者		
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細： 経過、身長、体重など ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（レントゲン、アンケート ）		
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：東京医科歯科大学 ）（提供方法：電子データ、郵送・電子的配信 ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）		
研究組織	1	神野 哲也	東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション部・准教授
	2	宮武 和正	東京医科歯科大学大学院運動器外科学・助教
	3	高田 亮平	東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科・医員
	4	平尾 昌之	東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科・医員
	5	久保 俊一	京都府立医科大学大学院運動器機能再生外科学・教授
	6	杉山 肇	神奈川リハビリテーション病院・病院長
	7	山崎 琢磨	広島大学医学部人工関節・生体材料学寄附講座・准教授
	8	福島 健介	北里大学医学部整形外科学・助教
	9	遠藤 直人	新潟大学医学部整形外科・教授
	10	川手 健次	奈良県立医科大学人工関節・骨軟骨再生医学・教授
	11	菅野 伸彦	大阪大学大学院運動器医工学治療学寄附講座・教授
	12	須藤 啓広	三重大学医学部整形外科学教室・教授
	13	高木 理彰	山形大学医学部整形外科学教室・教授
	14	帖佐 悦男	宮崎大学医学部整形外科・教授
	15	安永 裕司	広島県立障害者リハビリテーションセンター・所長
	16	山田 治基	藤田保健衛生大学整形外科・教授
	17	山本 謙吾	東京医科大学整形外科・教授
	18	兼氏 歩	金沢医科大学整形外科・教授
	19	伊藤 浩	旭川医科大学整形外科・教授
	20	稲葉 裕	横浜市立大学医学部整形外科・准教授

	<p>21 三谷 茂 川崎医科大学 骨・関節整形外科学・教授</p> <p>22 中島 康晴 九州大学医学研究院整形外科学・教授</p> <p>23 山本 卓明 福岡大学医学部整形外科学・教授</p> <p>24 藤井 英紀 東京慈恵会医科大学整形外科学・講師</p> <p>25 間島 直彦 愛媛大学地域医療再生学講座・教授</p> <p>26 内田 宗志 産業医科大学若松病院整形外科・准教授</p> <p>27 比江島 欣慎 東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科・教授</p>
研究の意義、目的	<p>近年大腿骨寛骨臼インピンジメント(衝突の意味) (FAI)という概念が海外で初めて報告されました。大腿骨頭あるいは寛骨臼の骨形態異常により、股関節の運動に伴って大腿骨頭と寛骨臼縁との衝突が繰り返し起こるという概念です。股関節の痛みおよび変形性股関節症の一因として注目されており、わが国では2015年に日本股関節学会から初めてのFAI診断指針が提案されました。この研究は、患者さんの診療歴・画像を用いて新たな診断指針に則った疫学調査を行い、未来の診断・治療に役立てることを目的としています。</p> <p>日本人のFAIに関する大規模な調査はこれまで行われたことがなく、また診断指針が提案されたばかりです。日本人のFAIに関する特徴が明らかになることは、診断・治療の改良・改善につながり、患者さんにとって有益と考えられます。この研究の目的は日本股関節学会のFAI診断指針に基づいて、股関節疾患をもつ患者さんにおけるFAIの頻度、疫学的な特徴、身体所見、画像所見の特徴を明らかにすることにあります。</p>
研究の方法	<p>この研究の患者さんの選定基準は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・股関節に関連する愁訴を主訴に外来を初回受診した患者さん</li> <li>・年齢 15 歳以上(骨端線閉鎖後)</li> </ul> <p>この研究の患者さんの除外基準は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折以外の股関節周囲骨折既往がある患者さん</li> <li>・骨端線閉鎖後の同側股関節手術歴を有する患者さん</li> <li>・研究への参加を希望されない患者さん</li> </ul> <p>研究参加者に協力いただく具体的な内容</p> <p>この研究に参加されることで、通常の診療行為に加えて新たな検体を採取することや、問診・診察が加わることはありません。受診頻度も通常の患者さんと同じです。通常の診療情報、撮影画像を研究に活用します。予定参加期間は、FAI と診断された患者さん、FAI の基準を一部満たす患者さんは初診時から最長 5 年間で、約 1 年後、3 年後、5 年後の転帰調査 (その後の経過) を行う予定です。それ以外の患者さんは診断確定時までです。</p>
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい

い。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究者連絡先：

旭川医科大学整形外科学講座

谷野弘昌

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話：0166-65-2111

研究責任者連絡先：

東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション科・整形外科

神野哲也

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

電話：03-5803-5678（ダイヤルイン整形外科外来）